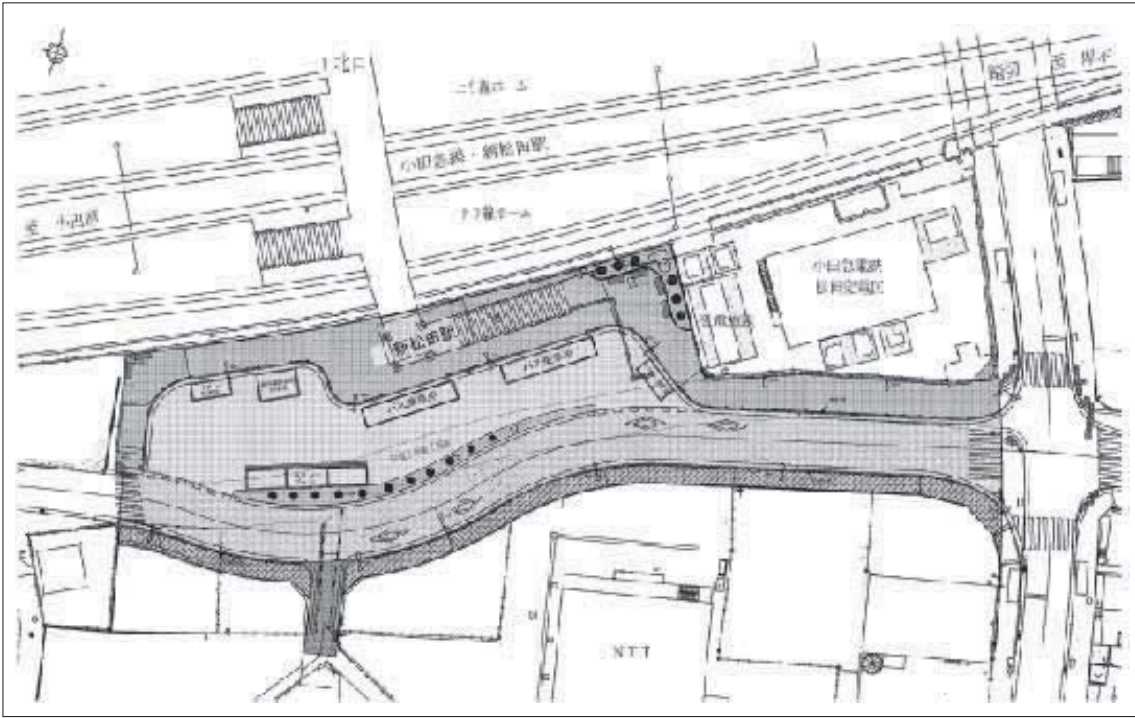


# 新松田駅南口駅前広場整備事業

■新松田駅南口駅前広場整備事業計画平面図■



## さらに利用しやすく、安全に！

### 平成22年度の完成を目標に、20年度も事業を推進します

#### 新松田駅南口駅前 広場整備に至るまで

平成3年に策定された「松田駅・新松田駅周辺地区市街地総合再生計画」では、駅周辺における市街地再開発事業が盛り込まれていましたが、バブル経済崩壊後の不動産市況の低迷などから事業化に至りませんでした。

その後、平成10年11月には新松田駅南口の臨時改札が開設され、平成11年12月には終日で利用できるようになりました。同時に平成10年度から再度、駅周辺整備構想を策定するために関係機関による検討会などが立ち上がり、議論を重ねてきました。

この検討結果では、駅周辺の広場整備において長期的な整備計画が必要と判断され、乗降機能を分散することを目的に駅南口整備を早期に着手することとされました。こうして北側の駅周辺整備計画と合わせながら、南口駅前広場整備事業が進められることになりました。



新松田駅南口、混雑の様子



町道5号線から西に見た新松田駅南口

#### バスロータリーと ゆとりある歩道を

現在、計画では南口駅前広場の面積が約2,500㎡となり、現在の町道(5号線)を南側に移し、駅側にロータリーを配置します。ロータリー内には、二つのバスパースとタクシーや自家用車が乗降できるスペースを設け、車の流れをより円滑にしています。また広場の中央には植栽帯を整備するなど、景観づくりに配慮しています。このほか、足柄上病院へ通院する方の利用が多いことから、ゆとりある歩道幅員を確保し、十分な歩行空間をつくることで、誰もが歩きやすい、人にやさしいまちづくりを推進しています。

※現在、足柄上病院前の町道15号線の歩道が完成し、足柄上病院には歩道を利用して安全に通行することができます。(関連記事8面掲載)

#### 計画的な事業運営と 補助金の活用を

平成18年度から始まった新松田駅南口駅前広場整備事業は5カ年での完成を目標に計画し、現在は3年目を迎え、地権者の合意と協力を得て、用地買収などを引き続き行っています。

町では、事業にかかる総事業費を概算で12億1,800万円と見積り、平成18年度4,269万円、平成19年度1億2,839万円(決算見込額)を支出しています。主に用地買収費や物件損失補償費として使用されました。平成20年度予算については、用地買収費や物件損失補償費として、総額で3億4,841万円となりました。その予算のうち国庫補助金1億7,875万円、地方債(事業債や減収補てん債)1億6,880万円を充当し、補助金などを活用した事業を進めています。

【問合せ】建設課 ☎(83)1332



平成18、19年度で取得した用地